

第 12 回川と山のぎふ自然体験活動の集い 報告書

2016年3月26日（土）・27日（日）

於 みんなの森 ぎふメディアコスモス

目 次

募集要項	2-5
実施記録	6-9
	10
アンケート結果	11-13



第 12 回川と山のぎふ自然体験活動の集い 募集要項

第 12 回 川と山のぎふ自然体験活動の集い 「自然とつながる人・暮らし・ものづくり・体験活動」 参加のお誘い

「川と山のぎふ自然体験活動の集い」は、岐阜県内で自然体験活動を企画・運営している団体や個人の交流の場として、2003 年より開催されています。

第 12 回目を迎える今回は、活動団体や個人の情報発信の場としての開催を目指しています。みんなの森ぎふメディアコスモスは、開館から 5 ヶ月の 12 月までに 50 万人の来場者があったたいへん人の集まる場所です。

自然体験活動にはこだわらず、岐阜県内のいいもの(森・人・文化)を見つけ、育んでいる方々が集い情報発信と体験の場の提供、そしてお互いの活力になる人的ネットワークを広げていくことを目的としています。

第 12 回 川と山のぎふ自然体験活動の集い

テーマ:「自然とつながる 人・暮らし・ものづくり・体験活動」

日時:2016 年 3 月 26 日(土)・27 日(日)9:00-17:00(27 日は 16:00 まで)

場所:みんなの森ぎふメディアコスモス 1 階ドキドキテラス及び会場周辺

〒501-3714 岐阜市司町 8 (Tel. 0575-35-2525)

参加費:無料(一部材料費や保険料の必要な体験もあります)

主催:川と山のぎふ自然体験活動の集い実行委員会

後援(予定):岐阜県・岐阜市教育委員会・NPO 法人自然体験活動推進協議会

問い合わせ・申込先

川と山のぎふ自然体験活動の集い実行委員会事務局 担当:高屋

〒500-8886 岐阜県岐阜市西野町7丁目北町 5 番地 NPO 法人エヌエヌネット内

TEL・FAX 058-216-4533 E-mail: nature@odss.co.jp

川と山のぎふ自然体験の集い実行委員会(50 音順)

畦地真太郎(朝日大学経営学部教授)

小野敦(グリーンウッドワーク協会代表)

川尻秀樹(森林インストラクター岐阜代表)

北川健司(NPO 法人エヌエヌネット理事長)

田村明(朝日大学経営学部教教授)

長沼慶拓(森林インストラクター岐阜)

萩原裕作(みのプレイパーク)

山田俊行(トヨタ白川郷自然学校校長)

参加募集

一緒に情報発信、体験会を実施していただける団体・個人を募集します。

展示スペース以外の経費は各団体にてご負担ください。

2日間無料の駐車スペースは交渉中です。

出展ブース参加 2,000円(32ブース)

ポスターチラシ展示コーナー、映像紹介参加 1,000円(30団体)

※申し込み締め切り 2016年1月31日

内容

・活動紹介

① ポスター・チラシコーナー

ポスターやチラシなど活動紹介の展示スペース

当日来れない団体も参加できます。

② 映像コーナー

事前にいただいた、活動紹介の写真や映像をプロジェクターで繰り返し流します。

③ 出展ブース

テーブルとバックパネルのあるブースで来場者と対話や相談、体験会を行えます。

・事例紹介ステージ

参加団体の活動紹介をします。発表時間とタイムテーブルは未定です。

パネルディスカッションを通じて岐阜県内の活動を紹介します。

(田村明コーディネーター、パネラー交渉中)

・体験会

① 出展ブースでの体験会

ブース内にて一般、子どもなどの参加できる体験を行います。

② 野外や周辺での体験会

会場以外での体験活動も行えます。詳細はご相談ください。

・意見交換会

26日終了後同施設の「考えるスタジオ」にて、意見交換会を行います。(参加費無料)

日ごろ会えない人たちとの意見交換など楽しい催しを計画しています。

・協力金

この集いは、実行委員と参加者が無償で進めています。ポスターやチラシ制作、広報、通信費の協力金をご負担いただいています。事業終了後、収支報告します。

出展者へのご案内

●前日設営 前日 18 時より 21 時

13 時より会場図面や案内看板など「創るスタジオ」で最終の作りこみをしますのでみなさん準備作業にご協力ください。

また、出展者の印刷や案内看板の大型プリントも格安で可能です。ぜひ、早めに着て自分たちのブース準備もしてください。

●当日設営 当日 9 時より

図書館開場が 9 時です。速やかに搬入できるよう事前に(8 時ころから)入り口近くに資材を運び、車両を駐車場(会場より「500mくらい)に移動しましょう。施設東側に停車できるスペースがあります。

図書館東には案内するものを配置します。

当日の搬入のある方は、一次駐車して手運び50m位してください。小さいですが台車を1台用意します。

●会場配置

前日まで配置のご希望には対応します。確実に居場所を確定したい方は前日 13 時以降に「創るスタジオ」においでください。

●駐車場

会場近くに1日駐車できるスペースを確保しました。

1 日 500 円です。(翌朝まで可能)26 日のみです。

27 日は周辺に 24 時間まで 600 円から 700 円の駐車場がありますのでご利用ください。早朝なら近くが空いています。

●情報交換会

26 日 17 時より「考えるスタジオ」で情報交換会を 1 時間程度行います。事前に申し出てください。当日でもかまいません。(受付まで)会費は無料に変更します。

会場内にコンビニ(ローソン)・スタバがありますので飲み物など必要な方は各自購入してください。また、情報交換会 2 次会を会場すぐ近くで「持ち寄り延長戦」を行います。差し入れ大歓迎ですのでよろしくお願ひします。これも当日までに申し出てください。(下記北川まで)

●シンポジウム

土曜日1回、日曜日2回パネルディスカッションの時間があります。担当は、田村、萩原、北川です。当日声かけしてパネラーになっていただく可能性がありますので心の準備よろしくお願ひします。

●撤収・反省会

27日17時にて修了して撤収します。撤収後、会場にて短い反省会をしますのでご協力ください。

●出展料

ブース出展される方は2日間2,000円の出展料を当日受付でお支払ってください。

●その他

ご不明な点ありましたら北川までご連絡ください。

実行委員長 北川健司

川と山のぎふ自然体験の集い実行委員会

500-8077 岐阜市伊吹町 2-3

TEL058-213-5775・090-4858-3535 FAX058-262-4616

第 12 回川と山のぎふ自然体験の集い

テーマ／自然とつながる人・暮らし・ものづくり・体験活動

ぎふの達人たちが大集合！本物ものづくり体験、自然遊び場所探しの情報収集ができる。

開催日／2016年3月26日(土)・27日(日)10:00-17:00

場 所／みんなの森ぎふメディアコスモス

参加費／無 料(一部材料費の必要な体験があります)

26日:13:00-14:00 「ぎふのいいとこ飛騨美濃エコツーリズム」コーディネーター田村明(朝日大学)

山田俊行(トヨタ白川郷自然学校校長)、熊崎潤(飛騨小坂 200 滝ガイド)、他

27日:11:00-12:00 「ほんもの体験アウトドアぎふ」コーディネーター北川健司(NPO 法人エヌエスネット)

杉山三四郎(大きな木)、平工謙太郎(結の舟岐阜清流オフィス)他

13:00-14:00 「子どもの心育てる外遊び」コーディネーター萩原裕作(岐阜県立森林文化アカデミー)

吉成信夫(岐阜市中央図書館長)、浅野純一(NPO 法人緑の風)、他

26・27日 「8月11日は山の日:岐阜の山歩き相談会」中部山岳ガイド協会・白山白川郷トレイルクラブ他

26・27日 「木育クラフト体験(木のおもちゃ、楽器)」要材料費 栗くり工房、NPO 法人グリーンウッドワーク協会、他

26・27日 「メディアコスモスプレーパーク」大垣公園プレーパーク(26日)美濃プレーパーク(27日)

26・27日 「メディアコスモスで DAY CAMP」トヨタ白川郷自然学校、岐阜県シェアリングネイチャー協会

26日 「長良川 E ポート下り体験ツアー」(NPO 法人エヌエスネット) 10:00～、13:00～各回 18 名

■出展団体／白山白川郷トレイルクラブ、トヨタ白川郷自然学校、OD-FARM 荘川(ODSS)、栗くり工房、NPO 法人飛騨小坂 200 滝、岐阜県立森林文化アカデミー、大きな木自然塾、NPO 法人エヌエスネット、NPO 法人グリーンウッドワーク協会、ぎふ森のようちえんネットワーク、やまがた舎、やまがた楽しいプロジェクト、自然生活研究所、飛騨白川郷自然案内人協会、大垣公園プレーパーク、結の舟清流オフィス、パーマカルチャー中部、中部山岳ガイド協会、山菜の里いび、岐阜県シェアリングネイチャー協会、達目洞自然の会、美濃プレーパーク他

主 催／川と山のぎふ自然体験のつどい実行委員会

後援(予定)：岐阜県、岐阜市教育委員会、NPO 法人自然体験活動推進協議会

お申し込み、お問い合わせ：川と山のぎふ自然体験活動の集い実行委員会事務局 担当：高屋

〒500-8886 岐阜県岐阜市西野町7丁目北町 5 番地 NPO 法人エヌエスネット内

TEL・FAX 058-216-4533 E-mail: nature@odss.co.jp

実施記録

展示・体験ブース



メディアコスモス プレイパーク



パネルディスカッション

“ぎふのいいとこ飛騨美濃エコツーリズム”

26日：13:00-14:00

山田俊行（トヨタ白川郷自然学校校長）、熊崎潤（飛騨小坂 200 滝ガイド）



“ほんもの体験アウトドアぎふぎ”

27日：13:00-14:00

杉山三四郎（大きな木）、平工謙太郎（結の舟岐阜清流オフィス）

コーディネーター：コーディネーター北川健司（NPO 法人エヌエスネット）



トークイベント

“子どもの心育てる外遊び”

27日：13:00-14:00

パネラー：吉成信夫(岐阜市中央図書館長) 浅野純一(NPO 法人緑の風)

司会進行：萩原ナバ裕作(森林文化アカデミー)

参加者：約50名

《 報告 》

「子どものこと」「外遊びのこと」を話すから子どもたちの近くでそして外でやろう！と急遽会場を変更し、野外で展開している

プレーパークで遊ぶ子どもたちの傍らで、パネルディスカッションを開始。一方的にパネラーが話すのではなく、聴衆から意見をもらいながら話はテーマとはつかず離れず！？の流れで展開。「子どもの心は自然に育つ。野外は大人が邪魔しないで見守るのに最適な空間。我々自信が楽しくあり続けることが何よりの教育となる」そんな答えが生まれた「みんなで考える」1時間と なった。

<参加者の反応、感想>

いろいろ脱線したけどオモシロかった。「自分たちが楽しまない」とは大切ですね。

<評価と課題>

よりいっそう会場みんなで考えることのできるパネルディスカッションの手法を模索したい。



★ 木のしおりづくり(ろうきん森の学校)

団体名: NPO 法人グリーンウッドワーク協会 (代表: 小野敦)

参加者: 約 200 名



《 報告 》

会場の図書館にちなんで木のしおりづくりを実施。
人力の道具を使って生木を削る体験ブースを出展した。
また、足踏みろくろの実演も行った。

＜参加者の反応、感想＞

会場入り口付近に足踏みろくろを設置したため、興味を持って質問してくる方が多かった。しおりづくりでは薄くスライスした木をアイロンで伸ばしたり、パンチで穴あけするのが子どもたちに喜んでもらえた。また、色付けに用意した手づくりの色えんぴつをつくりたいというコメントも多く寄せられた。

＜評価と課題＞

グリーンウッドワークの魅力を多くの方に知ってもらえてよかった。作業の内容としては、削り馬で木をスライスする工程が人目を引いてはいたが、子どもたちにはやや難しく、スタッフのサポートが必要だった。しおりに色付けをするコーナーでは、付添いの大人の方たちとゆっくりとお話をするのができて、今回の目的の一つであるろうきん森の学校の PR もたっぷりできてよかった。

★ メディアコスモス ネイチャーゲーム

団体名: 岐阜県シェアリングネイチャー協会 (代表: 原 令子)

参加者: 約 20名

《 報告 》

27日のみ実施。屋外のプレイパーク周辺にてスタンバイ。たっぷり木っ端や枝で遊んだ子どもたちや遊びこむまでは時間がないけど・・・といった雰囲気親子に声をかけ、チラシを手渡し「フィールドパターン」の説明。関心を示した親子を近くの大きな木のある芝生に案内した。用意したチラシ(50枚)は配布終えたため「フィールドビンゴ」も数組に向けて行った。

＜参加者の反応、感想＞

親子でゆったりとした時間を楽しんでいた。

パターンの絵があるだけで身近な自然物に関心がわいている様子が見られた。

「あげる・・・」と四葉のクローバーを持ってきてくれたり、「ビンゴ全部見つけたよ！」と声をかけにもどってくれた親子もいた。

＜評価と課題＞

通りすがりの人の様子を観察しながら声をかけ、カードやチラシの絵に興味を示した瞬間に説明をすることで芝生へ案内するというやり取りを楽しみながら行った。

特別なブースや時間帯を設けたわけではなかったが、プレイパーク利用者の様子や通りすがりの人の反応を見ることができて出展者としてはおもしろい時間を過ごすことができた。

しおりを作るため木を削る体験をする子ども＝岐阜市のぎふメディアコスモスで



メディコス ぎふ自然体験活動の集い

「川と山のぎふ自然体験活動の集い」が二十六日、岐阜市司町のぎふメディアコスモスで始まった。木の工作などが楽しめる。二十七日まで。

子どもたちワクワク

このイベントは、県内でアウトドアや木育を推奨する団体の代表らで実行委員会を組織し、二〇〇三年から毎年各地で開催。今回は下呂市小坂町で滝めぐりを案内する「NPO 法人飛騨小坂200

木のしおり
手作りだよ

滝」など、計三十六団体がブースを出展し、情報を提供している。

NPO法人グリーンウッドワーク協会（美濃市）は、木のしおりを作る体験コーナーを設けた。子どもたちは、木材を固定する木馬に乗って、ヒノキを慎重に削り、色鉛筆で好きな色に塗っていた。

体験した羽島市竹鼻町の小川さくらさん（八歳）、妹のももなちゃん（五歳）は「初めて木を切ったけど楽しかった。本を読む時に使いたい」と笑顔で話した。

このほか丸太切りや木工体験ができる。
（督あかり）

中日新聞 2016.3.27

参加者アンケート結果

□どこから来ましたか？

1. 岐阜市内 19 2. 岐阜近郊 6 3. 西濃地域 1 4. 中濃地域 4
5. 東濃地域 0 6. 飛騨地域 0 7. 岐阜以外の東海地域 2 8. 関西 1

□どなたと参加されましたか？

1. 1人で 4 2. 友人と 2 3. 家族と(大人のみ) 6 4. 家族と(子ども連れ) 32

□印象に残ったブースまたは出展内容

- ・木のしおりづくり 20 (木の香りがすごかった。おじさんがおもしろかった。木をけづるのが楽しかった。材木の良さを感じた。楽しい。ろくろを回すのがすごいと思った。削り馬等昔からの道具に触れることができ、感動した。)
- ・プレーパーク 6 (自由にできるっていい。大人が何も言わなくても、子どもがどんどん遊びを広げていって、素敵な場だと思った。子どもが生き生きとして楽しんで遊んでいた。4歳の子どものもたいけんできて楽しかった。)
- ・ランプシェードづくり 1(きれいな美濃和紙で素敵なものが作れてよかった)
- ・木の楽器づくり 2
- ・外のハンモック 2(3歳の子どもの喜んで乗っていた)
- ・かごづくり 1 (皆様親切で楽しく制作できた。)
- ・白川 GoGo1
- ・すべてのブース 2(どのブースもそれぞれの面白さが伝わってきて、山や川に行ってみたくなった。)
- ・実の物があって良かった。

□感想、その他

- ・楽しかった。またやりたい。
- ・PR イベント楽しい。
- ・様々な手づくり体験が気軽にできて、楽しかった。
- ・気軽に参加できる雰囲気が良い。普段できない体験ができ、子どもも喜んでいました。
- ・とても皆さん生き生きと活動されている。
- ・子どもにあうとどあたいけんをさせる機会がないため、各ブースで知ることができた。
- ・色々なプログラムがあることが知れていい機会だった。もう少し大きくなったら、子どもを参加させたい。
- ・街に住む人たちにとって自然へ足を運ぶいいきっかけをもらったのではないかと思う。今後もこのようなイベントとを是非沢さん開催してほしい。
- ・自然を生かした出店があり、本を借りる以外にも楽しめるイベントがあってよかった。また来たい。
- ・木に関する活動を身近に知ることができた。岐阜の山、川を大切にしていきたい。山に囲まれているのに知らないことが多いことに気づいた。
- ・TVのニュースを見て興味がわいたので主人と一緒に来た。楽しかった。
- ・いいイベントだ。もっと告知されるといいと思う。

第 12 回川と山のぎふ自然体験活動の集い アンケート結果

1.開催時期について

適当 11(暖かくて過ごしやすい季節でいい。暖かくなって、屋外で活動したくなる時期でいい。ウィンターシーズンから切り替わる時期)

希望時期 11月1、1月1、2月1、3月中旬1

年度末はやめてほしい(特に3月最終週はよくない)。

- ・ ウィンターシーズン前も是非
- ・ 冬季を除けばいつでもいい。

2.開催場所について

とてもいい(図書館に来た人が立ち寄ってくれるので) 14 いい 4 まあまあ 0 よくない 0
ご意見

- ・ 来場者が多くていい。
- ・ とてもうらやましい。
- ・ これだけ集客できるのがうらやましい。こういう場所を作りたい。
- ・ 今年は新施設で良かった。
- ・ またこの場所がいい。
- ・ いろいろな場所でやるといい。
- ・ 県内の人か集まる施設を巡って行うといい。
- ・ この図書館がとてもよい。いろんな年齢層や興味のある人が集まってゆっくりできるので、関心を持ってくれる人の割合も多いと思う。

3.企画内容について

とてもいい 7 2いい 11 まあまあ 0 よくない 1(参加団体が少ない。)

ご意見(次回についてのご意見も)

- ・ 同業者、関係者だけの集いでなく、一般の人に紹介できるのはよい。
- ・ もう少し広い出店ブースがあるとよい。
- ・ 施設利用者にも訴えられるレイアウトがあればさらによかった。
- ・ 細分化したり、若者でも集まれる会も企画してほしい。
- ・ ブースのレイアウトが立体的でスペースの外によく開かれていた。
- ・ トークセッションは参加者を集中させるのが難しかったが、外に持って行ったのはナイスアイデア。

4.実行委員会について

参加してもいい 12 考えてみる 1 そこまでの情熱はない 0 時々なら 3(時間があれば。東農からだ遠いので。遠いのでたびたび参加するのは困難)

興味はあるが無理 1(遠いので参加しにくい)

感想、意見、要望など

- ・ 参加者として原点に帰えれた。パワーをもらった。
- ・ 様々な方の想い、個性に触れることができました。とても楽しい時間ありがとうございました。
- ・ 町でやる! どんどん人のいるところで開催するのはよいと思う。
- ・ 図書館なので、市民の皆さんが気軽によってもらいやすくて良いと思った。小規模でもよいので季節ごと(春前、夏前、秋前)にあってもよい気がする。(この場所で)
- ・ 自分たちの活動の報告、営業の場として図書館を使うのがはじめてだったが、年齢層が幅広く、利用者が相手に

なるのですごく有効だと感じた。

- ・メディアコスモスが大人から子供、様々な人たちが集う場所なのでPRする場所として最適だった。自然学校としても、今回は展示中心だったので、次回は体験させたい。
- ・パネルディスカッションの時は全員な注目するような仕切りにするとよいのでは。
- ・会場の利用方法(開門、駐車スペース、利用法)の情報が少ない。(各自で求めるのが普通かもしれないが)
- ・講演会が外だったので、スタッフが聴けずに残念。
- ・室内の体験ブースが少なかったように思う。
- ・メディアコスモスのねらいに合致したい「山と川の集い」だった。はじめてブースが集合体として機能したと思う。
- ・この会場を今後の利用しない手はないと思う。もっと使いやすいメディアコスモスになっていけばいいと思う。
- ・会場に音声や音楽を流してもよかったと思う。

第 12 回 川と山のぎふ自然体験活動の集い報告書

発行 2016年4月30日

山と川のぎふ自然体験活動の集い実行委員会
事務局

岐阜県岐阜市月丘町5丁目13番地
特定非営利活動法人エヌエスネット内

TEL 058-249-1166

編集責任者 高屋 良平